

◀文庫手帖(青森県近代文学館蔵)



▲太宰治肖像写真
(青森県近代文学館蔵)



▲『人間失格』草稿
(青森県近代文学館蔵)

▲太宰治愛用の万年筆
(青森県近代文学館蔵)



▲古田晁肖像写真
(古田晁記念館蔵)



▶「二重廻し」
(五所川原市教育委員会蔵)



▲ネクタイ
(青森県近代文学館蔵)



▲『人間失格』執筆机(個人蔵)

※会期中、展示替えを実施致します。

2018年に没後70年、2019年に生誕110年を迎えた太宰治は、小説はもちろん、ドラマや映画、ゲームや漫画の原作になることも多く、新しいファンを獲得し続けています。

そんな太宰と埼玉県は実は非常にゆかりがあるのです。太宰作品のなかでも特別な作品、『人間失格』(1948年)の「第三の手記」後半部と「あとがき」を執筆したのが埼玉県大宮市(現さいたま市大宮区)でした。本企画展では、その際に太宰が使用した「執筆机」を本邦初公開致します。

さらに本企画展開催に合わせて当館展示室は、リニューアルオープン致します。この機会に埼玉県ゆかりの文豪たちについて改めて認知していただきたいと考えており、特に常設展示で扱っている永井荷風・田山花袋・武者小路実篤・中島敦にスポットを当て、展示致します。

加えて「文学の力や記憶をこの先の未来へと継承していくこと」をテーマとしたDMM GAMESより配信中のゲーム「文豪とアルケミスト」と初めてタイアップを実現しました。本企画展のために描き下ろされたイラストや、当館限定グッズの販売、コラボレーションドリンクの販売やイベントなど、盛り沢山に用意しております。



田山花袋

中島敦

武者小路実篤

永井荷風

太宰治



『DMM GAMES「文豪とアルケミスト」』
「再びこの世に転生せし文豪たちが繰る、もうひとつの文学譚」

DMM GAMES(PCブラウザ/iOS/Android)にて好評配信中の文豪転生シミュレーションゲーム「文豪とアルケミスト」。2016年11月にPCブラウザ版、2017年6月にアプリ版を配信し、登録者数は現在までに100万人を突破。キャラクターに史実の関係を反映させ、現世に転生し再会したらどうなるのか、同じ時代に生きていながら会えなかった人達が実際に会ったらどんな関係を築くのかをコンセプトにゲームが作られている。

グッズ紹介

本企画展のために描き下ろされたイラスト「黎明ノ懊悩」を使用したクリアファイルやアクリルスタンド、今回取り上げる文豪(太宰治・永井荷風・田山花袋・武者小路実篤・中島敦)の当館限定販売の缶バッジを販売致します！
また来館者全員にポストカードを、アンケートをご記入いただいた方に特製しおりをプレゼント！

カフェメニュー

当館併設の「けやきカフェ」において、本企画展期間限定の特別メニューを提供致します！太宰治・永井荷風・田山花袋・武者小路実篤・中島敦とゆかりのある飲み物をご用意しました！ご購入者に特製コースターをプレゼント！

関連事業

記念講演会 2月1日(土)・14時~15時30分

講師/玉手洋一氏(「太宰が住んだ大宮」HP管理人)
場所/文学ホール 申込/電話(048-789-1515)でお申し込みください。(先着200名・無料)

執筆机撮影会 1月31日(金)、2月1日(土)、2日(日)、22日(土)、23日(日)、3月7日(土)、8日(日)・各日10時~12時/14時~16時

場所/ギャラリー1 申込/当日受付・先着100名限定 撮影費/1人500円

記念トークイベント 1月26日(日)・14時~15時

登壇者/DMM GAMES 谷口晃平氏(「文豪とアルケミスト」プロデューサー)
津島克正氏(太宰治検定実行委員会委員長)

場所/文学ホール
申込/電話(048-789-1515)もしくはHP(<http://www.saitama-bungakukan.org/>)のメールフォームからお申し込みください。(抽選方式200名・無料)



JR 高崎線桶川駅
西口から徒歩5分

